



長野の街はとても、おしゃれだった。2年前の冬季五輪会場となった面影がまだ残っているせいだろう。駅前バスを降りた時の第一印象である。中大の「野尻湖セミナーハウス」は、さらに長野から電車で25分の黒姫駅で降り、タクシードで15分ほど走ったところにあった。どこを見回しても緑、緑、緑……の申し分ない自然環境。私たち学生記者は8月1日から3日まで、装いも新たなセミナーハウスで2泊3日の夏季合宿を行うことになった。

建て直し、7月にオープンしたばかりの**写真①**。ピカピカの廊下に向き合うように並んだ部屋はまるでホテル並み。さっそく管理人の山原さんの案内で「施設見学」をさせていただいた。ここへ来る時、タクシードの運転手さんが「中大の寮はこの町一番の建物ですよ。とにかく、耐震の杭が何百本も打ち込まれているんだそうですよ」と話していた。さっそく、セミナー室で勉強会。あすは野

新装オープン

野尻湖セミナーハウス

みんなで利用しよう

原に向かつて国道を歩き始めると、間もなく拡幅工事の現場に出た。工事は一時休止され、そこで大勢の人がハケのようなもので、固い層と柔らかい層を丁寧に掃き分けていた。ところどころに細長い穴が掘られている。係員の方から「当時、獲物を捕らえるための落とし穴だったのではないか」と説明された**写真②**。「このへんはどこへ行っても埋蔵物の宝庫なんだな」と、さつき見たナ

野尻湖周辺をハイキングすることに

涼しく気持ち良い朝。地元の人に道をたずねながらまずは、野尻湖畔に出た。深いブルーの湖面と緑を映した弁天島。近くのナウマン象博物館で歴史の勉強となった。模型とはいえ、等身大のナウマン象やオツノシカの余りに大きさにみんな圧倒された様子だった。

ナウマン象に別れを告げ、黒姫高

ウマン象発掘の話がよみがえってきた。思わぬ社会科勉強が相次いだ。

黒姫高原では、早咲きのコスモスが私たちを迎えてくれた。リフトで中腹まで来ると、周辺の山がパノラマ状に迫り、学生記者の歓声がこだました。

夕食後、管理人さんと、にわか懇談会。山原さんご夫婦は改築前からここで仕事を続けてこられた大ベテランだけに、中大生との付き合いも



多く、大食堂の片隅には思い出の写真アルバムが置いてあった。山原さんの奥さんの話によれば、「私は中大生は好き」だが、「ただし」と注釈がついた。「お酒に関するマナーに少し問題があるかなあ」。つまり、周囲の人の迷惑も考えて、飲んでほしいとのことだった。中大生を本当のわが子のように考えてくれる管理人さん。このセミナーハウスは「お母さんの優しさ」に支えられているんだなと思った。

(学生記者・土井 敬士)

|| 表3に関連写真